

ここでいう、**ダンレボ**は、わりと有名なダンス・ダンス・レボリューションではありません。

ダンボール・レボリューションです。

株式会社ISOWA（本社・愛知県春日井市）という会社による企画です。

どちらかと言えば、低級素材(?)というイメージのあったダンボール。そのイメージを**逆転**し、かえて「ダンボールを通じて世界中に**夢**を提供したい。」（同社磯輪社長ブログより）という企画です。

すでに朝日新聞や地元TVが何度か報道し、話題がひろがりつつあります。

ダンボールを通じてどうやって世界中に夢を提供するのか？

株式会社ISOWAはダンボールの製造機械メーカー、経営は順調だが、先行き不透明な業界改革への思いを込め、**新機軸**を投入した。有名プリンタ・メーカーと協力し、インクジェットでダンボールにカラフルに少量印刷できる機械【Box Dream】を開発した。

ダンボールにカラフルに少量印刷できるとなると、意外なアイデアや夢がどんどんひろがってきた。

株式会社ISOWAの「顧客の注文に細かく応える小回りのきいた営業」の延長として、ダンボールの最終顧客からひろく【Box Dream】のおもしろい使い方を募ろう、と企画した。ダンレボ・サイトwww.danrevo.comを中心に、若手社員がインターネットを駆使し始めた。

「第1回夢のダンボールアイデアコンテスト」の結果が2005年12月24日午前0時に発表された。521件もの応募があった。

さて、JOMONあかでみいのキーワードのひとつは〈**日本再生**〉です。この愛知県発の新しいチャレンジのサイトwww.danrevo.comへ、リンクさせていただきます。株式会社ISOWAのダンレボ企画は、愛知県出身のイチローのように、ヒットを量産して欲しいですね。

ちなみに、「第1回夢のダンボールアイデアコンテスト」の各審査員賞のうちのひとつ、「**ミサト賞・絵巻物緩衝材**」の「やすらぎまなぶ君」とは、JOMONあかでみいの山田 学のことです。